



厚生労働省福島労働局発表
平成29年6月16日

担当 福島労働局 健康安全課
課長 清水俊明
産業安全専門官 松尾眞由美
電話 024-536-4603

平成29年度 安全衛生に係る厚生労働大臣表彰が決定

本県関係では 三菱ケミカル株式会社 平塚事業所 郡山製造所 に奨励賞

7月3日に福島労働局において伝達式を行います

厚生労働省では、毎年、全国安全週間（7月1日～7日）の時期に合わせて、安全衛生に関する水準が優秀で、他の模範と認められる事業場や団体、長年にわたり地域や団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大の貢献をした功績者などに対して、厚生労働大臣表彰を行っています。

本日、厚生労働省は、本年度の受賞者を発表しました。

本県関係の受賞者は以下のとおりです。

【奨励賞】 (安全衛生に関する水準が優秀で改善のための取り組みが他の模範と認められる事業場または企業に対する表彰)

三菱ケミカル株式会社 平塚事業所 郡山製造所

※ 奨励賞は、本県からは一昨年度に続く受賞

<伝達式>

福島労働局（局長 島浦幸夫）では、上記の受賞者に対する厚生労働大臣賞の伝達式を、次の日程により行います。

○日時 **平成29年7月3日(月) 午後1時30分から**

○会場 **福島合同庁舎 3階共用会議室**

(福島市霞町1-46 福島合同庁舎)



さまざまな
創意工夫で無災害
みんなで作れる安全職場



参考1：受賞者功績

○【奨励賞】 三菱ケミカル株式会社 平塚事業所 郡山製造所
(所在地：郡山市待池台2-1 代表者：郡山製造所長 堀内哲雄)

上記事業場は、ペットボトル飲料のラベルに使用する熱収縮性フィルムの製造を行っている。

製造部門トップの平塚事業所で示した安全衛生方針をもとにしつつ、上記事業場独自の取組みを組み入れた安全衛生活動計画を作成し活動を展開しており、次のとおり、ハード面、ソフト面の両方から災害防止活動に取り組んでいる。

- ♦ (ハード面) 安全カバーの設置や、センサーによる機械停止等のハード面における災害防止対策を重要視し、リスクアセスメントの評価に「ハード対策の状態」と、危険域への接近の程度とを評価して、作業実態に応じたリスク評価を行っている。
- ♦ (ソフト面) 作業者への教育等のソフト面の対策として、「G7活動」の名称で、7つの現場管理標準を設け、作業標準の定着状態について客観的な5段階の基準により評価することで、定着状況のステップアップとより質の高い定着を実現している。また、作業手順や保護具の着用基準等について、絵や写真を用いた「ワンポイントレッスンシート」を作成して作業者が見やすいように作業通路に掲示、危険個所の見える化を推進している。

その他、ゼロ災強調月間を定めて、労働者全員が災害防止のための目標を決めて現場に掲示して、災害防止のための意識高揚を図る等、労働災害防止のために労使一体となって創意工夫を凝らした安全衛生活動を行っている。

これらの取組により、平成6年10月9日以降22年以上、無災害記録を継続しており、その創意工夫を凝らした安全活動の水準は特に優秀であり、他の模範となるこれらの活動が高く評価されたものである。

参考2：本県の厚生労働大臣表彰受賞歴

年度	優良賞	奨励賞	団体賞	功労賞	功績賞	安全衛生推進賞
29		1				
28					1	1
27		1			1	1
26		1			1	
25	1				1	
24						
23						
22						1

参考3：平成29年度厚生労働大臣表彰受賞事業場・受賞者数【全国】

(1) 優良賞（9事業場）

安全衛生に関する水準が特に優秀で、他の模範と認められる事業場

(2) 奨励賞（17事業場）

安全衛生に関する水準が優秀で、改善の取組が他の模範になると認められる事業場

(3) 団体賞（該当なし）

安全衛生活動を活発に推進し、関係事業場の安全衛生水準の向上に顕著な功績があつた団体

(4) 功労賞（4名）

長年、労働安全衛生に尽くし、日本の安全衛生水準の向上に多大な貢献をした個人

(5) 功績賞（34名）

安全衛生活動の指導的立場にあり、地域、団体、関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人

(6) 安全衛生推進賞（8名）

長年、安全衛生関係の業務に従事し、地域、団体、関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人

(7) 善行賞（0名）

作業現場における異常事態の発生に際し、人命を救助し得た個人